

わかくさ

学 校 通 信

青梅市立若草小学校

令和7年2月28日

第839号

その加減が難しい

副校長 松井優子

一言、言えばよかった

四年 女子

学校から帰るとき
友達が先生と話していたから
先に帰ることにした。
とちゅう
友達が後ろから走ってきた。
ここから、いっしょに帰れる。
でも、友達はわたしをぬかして
どんどん行ってしまおう。
「まって。」と呼んでみたけど
無視して、走って行ってしまった。
追いかけたけど
二つめの角を曲がった所で
見えなくなつた。
せきが出るので
わたしは走るのをやめた。
早歩きで追いかけたけど
友達には追いつかなかつた。
家に帰ってお母さんに話したら
「たぶん、ごかいしているんだよ。」
と教えてくれた。
いつもいっしょに帰るのに
話が長くなるなと思って
何も言わずに帰ってしまったからだ。
「先に帰るね。」と言っていたら
友達はわたしに追いついた所で
止まってくれたはずだ。
明日、学校で
ちゃんとあやまろう。
(多摩子ども詩集9号より)

日々、成長していく子供たちにとって、友達関係のトラブルは避けて通れないものです。ちょっとした言い合いやすれ違いは、子供たち自身が学び、成長する大切な機会となります。しかし、保護者の皆様としては、「どこまで見守り、どこまで関与すべきか」と悩まれることもあるのではないのでしょうか。

「可愛い子には旅をさせよ」というように、子供を甘やかさず、自分の力で困難を乗り越えさせることは、子供の成長につながります。友達とのトラブルも、親がすぐに手を差し伸べるのではなく、子供自身が問題解決の力を養うチャンスと捉えることができます。

一方で、「転ばぬ先の杖」ということわざもあります。これは、あらかじめ対策を講じることで、大きな問題を未然に防ぐという意味です。子供が深く傷ついたり、人間関係に苦しみすぎたりする前に、大人が適切なアドバイスやサポートをすることも重要です。

先行きが不透明で予測困難な時代において、学校では「自分の力で自分の人生を切り拓き、他者とよりよい関係を築いていく力」を育むことを大切にしています。そのためには、子供たちが失敗や困難を経験しながらも、それを乗り越える力を身に付けることが必要です。大切なのは、子供の心に寄り添いながらも、過保護になりすぎず適切な距離感を保つことです。子供が自ら考え、行動できるよう導きつつ、必要なときにはそっと手を差し伸べ、温かく支えてあげることが、大人の役割ではないのでしょうか。とは言っても、その加減が難しく、心配や悩みは尽きません。そんな時は、そっと、ご相談ください。

3月の行事予定 生活目標：ろうかは、静かに右側を歩こう（ルールを守る）

★はスクールカウンセラーの来校日です

1	土	金管バンドクラブ定期演奏会（於 若草小学校体育館）	
2	日		※3月の避難訓練は予告なしで行います
3	月	全校昼会 委員会活動	
4	火	6年生を送る会（3・4校時）障害理解教育（4年）	ステップアップ教室（5年）★
5	水	卒業式練習始 保護者会・学校経営報告会（5，6年）奉仕活動（6年）	
6	木	たてわり遊び 保護者会・学校経営報告会（3，4年，わかくさ学級）	ステップアップ教室（4年）
7	金	卒業式式場設営（5年）	ステップアップ教室（6年）
8	土		
9	日		
10	月	全校昼会 清掃重点期間始	
11	火		★
12	水		
13	木		
14	金	清掃重点期間終	
15	土		
16	日		
17	月		
18	火	卒業式予行（5，6年 5・6校時）	
19	水		
20	木	春分の日	
21	金	卒業式前日準備（5年）給食終	
22	土		
23	日		
24	月	第46回卒業式（5，6年）	
25	火	修了式 午前授業	
26	水	春季休業日始	
27	木		新年度の始業式は4月7日（月）です
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

お願いとお知らせ

- ・お子様で発熱風邪等の症状がある場合や体調が優れない時には、登校を控えていただくようお願いします。
- ・卒業式には6年生と5年生が参列します。1年生～4年生は休業日となります。

24cm以上の上履きをご寄付ください

児童に貸し出すために、不要になった大きめの上履きを集めています。

なお、24cm未満の上履きは、十分に足りておりますので、今年度は、24cm以上の上履きで、不要になったものがあれば、学校へご寄付ください。